発 行:田辺市南部公民館 (田辺市末広町11番3号) TEL: 0739-25-0360 FAX:0739-34-2585 館 長:押川 仁 主 事:日下 智哉 事務局 〒 646-0025 田辺市神子浜一丁目 4 番66号 (市立東陽中学校内)

南部・ひがし公民館

3月23日(日)9時~12時 (受付 8時30分~8時50分)

東陽中学校 体育館 (田辺市神子浜一丁目4番66号)

参加費|無料

チ-ム編成及び出場資格

- ・中学生以上の者で編成すること。
- ・1チームあたりの登録人数は、6名以内とすること。
- ・競技は男女4名による混成チームで行い、そのうち男性は2名以内で編成すること。
- 1チ-ムあたり半数以上の者が東部・南部・ひがし公民館区域内に在住する者で編成すること。

申込方法

- ① 申込書に必要事項を記入の上、東部公民館又はひがし公民館までご提出ください。 (FAX可 FAX番号:東部公民館 34-2585、ひがし公民館 81-3301)
- ② 右の二次元コードからも申込みできます。

いっしいい 立 っ上人 中に中

申込期限 3月17日(月)17時まで

その他

必ず屋内用運動靴を 着用してください。

お問合せ先

- •東部公民館(〒646-0025 田辺市神子浜一丁目4番66号 電話:25-0360) 雷話:22-2088)
- •ひがし公民館(〒646-0013 田辺市南新万28番1号

<u> </u>	・ル大会 甲込善 チーム名		<u>_</u>
氏 名	住 所	電話番号(代表者のみ)	備考
(代表者)			

令和6年度人権学習会を開催しました 去る2月7日(金)、東陽中学校体育館にて、令和6年度人権学習会を開催しました。

本年度の学習テーマは「防災と人権」です。 本年度は、2011年に発生した東日本大震災で甚大な被害を受けた、宮城県石巻市立大川小学校元校長の千葉照彦先生を 講師にお招きして、「東日本大震災での教訓と命の大切さについて」と題し、約1時間の講演を行っていただきました。



千葉先生は、被災の1年後、2012年4月1日より 大川小学校に着任しています。千葉先生ご本人も被 災者であり、災害後に様々な課題が山積する中で、 保護者への対応や、子どもたちの心のケア・居場所 づくり、教育環境の再整備、捜索活動など、被災後 における様々な対応に当たられた経験を持たれてい ます。また、震災発生当時には石巻市立湊小学校教 頭として勤務しておられました。

当時、津波が迫ってくる様子を高台から見ていた 千葉先生のご友人によると、その光景をこのように 表現されています。"太平洋を見ていたら、はるか 沖合に巨大な黒い壁ができ、それが陸に向かって押 し寄せてきた。それが津波だった。"

講演内ではほかにも、「震災後は当たり前が当た り前でなくなる。電気・水道・ガスがとまる、食べ 物がない、着るものがない、住む家がない。」とい

うことや、「有事の際には正常性バイアス※1、多数派同調バイアス※2が働くので人間はいざというときに逃げられな い。自分の命は自分で守る。あなたの命が助かることで他の人の命も助けることができる。そのために自分で判断して、 正しい避難行動がとれるよう命を守る行動を習慣にしておくことが大切。」等の様々なお話を聞かせていただきました。 ※1正常性バイアス・・・異状が起きているにも関わらず、自分にとって都合の悪い情報を「今回は大丈夫」、「自分は大丈夫」と無意識のうち に過小評価したり無視したりする人間心理。

※2多数派同調バイアス・・・「周りの人が避難していないから自分も避難しなくて大丈夫」、「自分だけ変な行動を取りたくない」と無意識の うちに周りの行動に合わせてしまう人間心理。

東日本大震災は今年で発災から14年目を迎えます。月日の流れとともに、当時のことを知らない子どもたちも徐々に増えてき ました。実施後アンケートにもありましたが、人間は少しずつ過去の出来事を忘れてしまうものです。過去の教訓を風化させな いためにも、継続的に地域の皆様とともに、防災と人権を見つめ直す機会を作ることが重要であると感じました。

以下、実施後アンケートにあった感想や質問を、千葉先生からいただいた回答とともに一部御紹介させていただきます。

アンケートへの回答

⑤当時のリアルなお話が聞けてよかったです。震災当日の体育館は今日と同じ寒さ、それ以上だったのでしょうか?

震災が起きてから、寒い日の連続でした。湊小学校では段ポールを敷いたり、新聞紙で体を覆ったりしました。また、2つの 教室を病人部屋としました。そこには、学校の近くにあった福祉会館(津波で被災)の二階にあった石油ストーブを持ち込んだ りしました。(施設管理者の許可を得て。)また、教室にあった子どもたちの運動着やカーテンなど利用できるものはすべて利 用しました。いずれも、避難した人すべての寒さをカバーできるものではなく、夜は体を寄せ合い過ごしていました。

◎いつも講演がありましたら行ってますが排泄物についてのお話を聞きたいです。小、大の処理の仕方についてお願いします。 (自分だけの)用意はしていますが、貸してと言われた時はどうすればよいかについてのお話も聞きたく思います。

千葉先生からの回答

排泄物については、湊小学校では、保護者の方に浄化槽管理会社に勤めている人がいたのでアドバイスをもらい、プールの水 を使用し流していました。ルール作りとその徹底に多くの時間を要しました。別の学校では校庭の片隅に穴を掘り、桟橋や行事 用のテントとブルーシートを利用し仮設トイレをつくり使用していました。

個人持ちの非常用トイレを貸すかどうかにつきましては、正しい答えはないと思います。ただ、言えることは個人用のトイレ を「貸して」というような状況を作らないことが大切だと考えます。非常用トイレを多くの人に準備するように呼び掛けると か、町内会で備蓄するとか、「備える」ことが大切だと思います。自然災害の被害を減少させる決め手は、「備える」ことが大 切だと考えています。

◎東日本大震災で実際に困ったこと、◎阪神大震災(30年前)とは違う、新しい問題点などを知りたいです。

千葉先生からの回答

困ったことは、時間の経過とともに変化しました。私は教員なので、初期の段階では、子どもたちの安否確認、学校の再開や 登下校の安全確保などに尽力しました。生活面では、特に飲料水の確保に困りました。電気やガスについては、代用品で何とか なりますが、飲料水だけは給水に頼らざるを得ません。最低1週間の備蓄をお勧めします。

夏場のハエ(肥大化した銀バエ)の大量発生にも困りました。石巻市の中心部やその周辺では、魚の加工場が数多くあり、津 波で多くの保管されていた魚介類が流失しました。撤去作業はされていたのですが不完全だったためか、ハエの大量発生の原因 になったと考えています。

阪神淡路大震災の教訓が生かされ、国の災害対策が根底から見直されました。東日本大震災を受け、国の防災・滅災に対する 対策や避難所の運営・学校の安全等が更に見直しがされました。『災害や事故などのリスクは、社会や環境・時代、更には教訓 によって変化します。』避難マニュアルなどの改定に終わりはありません。常に見直すことを心がけてください。







第567号

令和7年2月25日

か じウのスカーや 主人 「明 出 」

総まとめの3月です!

少し前に新年を迎えたと思っていたら、駆け足のように時が流れあっという間に、いよいよ3月を迎えます。3月は1年間のまとめをする月です。

子どもたちには、現在の学年の総まとめをきっちりと行って、 それぞれ進級や進学を迎えられるようがんばってもらいたい と思っていますので、教職員一同、気を引き締めて取組を進め ていきたいと考えています。

「3月は去る」と言われるように、卒業式や修了式もすぐに やってきます。3月の授業日数は、式の日も含めてわずか15日 (6年生は14日)です。学校でも全力で指導していきますので、 ご家庭でもご協力をお願いします。6年生のみなさんは残り少 ない小学校生活を有意義に過ごし、中学校進学に備えてください。



「ベルマーク運動 ご協力ありがとうございました」

2月7日(金)に本年度最終のベルマーク整理が行われ、お忙しい時期にもかかわらず、委員の皆様においでいただき最後の整理と集計を行っていただきました。1年間を通じて、保護者や地域の皆様方にはベルマーク運動に多大なご協力をいただきましたことに感謝いたしませ

集めたベルマークポイントを使用して子どもたちが使用する給食着を購入させていただきました。ありがとうございました。紙面を借りて御礼申し上げます。

育友会ソフトバレーボール大会開催

育友会保体部主催のソフトバレーボール大会が2月2日 (日)に行われました。

今年度は育友会から8チーム、職員から2チームの参加がありました。寒い中ではありましたが、会場いっぱいに活気があふれる中で試合が進みました。また好プレーや珍プレーには大きな歓声があがりました。

決勝戦は、神田チームと文里チームの対戦になりました。試合は、両チームとも一歩も引かない白熱した展開となりましたが、最後は接戦を制して神田チームが優勝を飾りました。

準優勝は、文里チーム、3位は職員Bチームでした。

大きなけがもなく無事に全試合が行われ、育友会員の親睦が 図れた半日になったことと思います。寒い中朝早くから大会を 運営してくださった役員の皆様方、本当にお疲れ様でした。

『我が家の子育て発表会』開催!

田辺第二小学校

発表者 山路 守さん(1年・4年保護者) ディネル エマニュエルさん(4年保護者) 中川 雅也さん(3年・6年保護者)

学校だより

育友会文化部主催「我が家の子育て発表会」が、2月6日 (木)に行われました。今年も、3名の保護者代表の方に自ら の子育て体験を中心とする発表をしていただきました。

どの発表も子どもさんに対する深い愛情があふれる素晴らしいお話で、あっという間に時間が過ぎました。発表をしてくださいました3名の皆様方、ご来場くださった皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

3月行事予定

3日(月)明るい笑顔街いっぱい運動 安全点検 体重測定 6年生を送る会【3、4限】 卒業式に向けて式場作り【5限】(5年) 合唱部卒部式(放課後)

4日(火) ICT支援員来校 第5回育友会理事会19:30~会議室

5日(水)職員会議

6日(木) スクールカウンセラー来校日 11:00-16:00

7日(金) TV放送【児童会便り】 フッ化物洗口なかよし学級お別れ遠足

10日(月)育友会費集金日 ユニセフ募金活動~14日(金) なかよし学級お別れ遠足予備日

なかよし学級お別れ遠足予備日 11日 (火) ICT支援員来校 ALT来校

12日(水)委員会/代表委員会

13日 (木) ALT来校

全学年5限目で終了~18日(火)まで

14日(金)卒業式総練習【1、2限】 19日(水)給食最終日 卒業式準備

20日 (木) 春分の日

21日(金)第136回卒業証書授与式(9:30開式)

24日(月)令和6年度修了式11:30最終下校

25日(火) 春休み ~4/7(月) まで 【新6年生は入学式準備のため4/7(月) 登校】

31日(月)離任式【いつも通り登校】 9:40最終下校

《3月の目標》きれいにしてゆずろう

3月21日、24日を最後に子どもたちは進級、 進学し、現在の学年とお別れです。卒業される 皆さんはもちろん、他の学年の皆さんも、現在 使用している教室や机等をピカピカにして、後 輩たちに譲り渡してもらいたいと思います。





東陽中学校

田辺市立東陽中学校・学校だより

3月号 令和7年3月3日

3月となり、本年度も残すところあとわずかとなりました。3年生は3月6日に「第76回卒業証書授与式」を迎え、東陽中学校を巣立っていきます。3年生にとって義務教育最後の授業となる「卒業式」が思い出に残る素晴らしい式になるよう、残りの数日間、一日一日を3年生とともに大切に過ごしていきたいと思います。また、4月から2年生は最上級生、1年生は先輩になります。新入生を迎え入れる心構えと準備をしていってほしいと思います。

今年度は、保護者、地域の方々に学校行事や授業等に参加していただく機会を多くもつことができ、大変うれしく思っています。本校の教育活動が生徒の成長を促進するとともに、地域の活性化にも繋がりますよう、今後とも皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



令和6年度



冬の寒さの中にも、春の気配を感じることのできる季節となりました。

新しい制服に身を包み中学校に入学した日、新しい友達や中学校生活に、期待と不安で胸がいっぱいでした。そんな中始まった中学校生活も約二年が経ち、今日この立志式を迎えることができました。

今日の立志式に向けて、自分のこれまでを振り返る機会が多くありました。冬休みには、幼かった頃の自分のことを家族に聞き、懐かしい気持ちになり、たくさんの方の支えがあって、ここまでこれたことに気づきました。道徳の授業では、家族や友だちの存在について考え、自分の将来の夢や、どのような大人になりたいのか深く考え直す良い機会となりました。

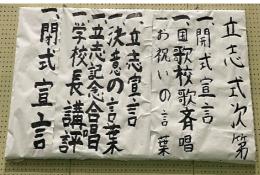
私たちが立てた「志」とは、今日や明日に向けての短期間の目標とは違い、これからの長い人生に向けての誓いです。一年後には、自分の進路を決める重要な選択が待っています。それだけではなく、その先には様々な壁が立ちはだかることでしょう。しかし、今この場で誓う「志」を忘れることなく胸に刻み、どんな壁も乗り越える強さを持った人になっていきます。

これまで私たちを支えてくれたお父さん、お母さん、先生方、地域の皆様、本当にありがとうございます。時には、反抗的な態度をとり、素直になれないときもありますが、いつも温かく見守り、導いてくださる皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

まだまだ未熟な私たちですが、これからも勉強や部活動に取り組み、仲間とともに成長していきたいと思います。どうか私たちを温かく見守ってください。よろしくお願いします。

今日、この立志式で誓った「志」を必ず実現させるため、全力で努力することをここに宣言いたします。

令和7年2月21日 立志生代表 古田 琉



一人ひとり壇上で決意の言葉を述べ、立志記念合唱で「正解」という歌を学年で心を合わせ、歌いました。





